

あなたの一歩がまちの未来を変える

~ 2023 ~

みんなの せんだい めぐり

報告書



当日の様子は
こちら
Instagram



8つのチャレンジ
プロジェクトについて



主催：仙台市

仙台市まちづくり政策局政策企画課

あなたの一歩がまちの未来を変える
~ 2023 ~

みんなのせんだいめぐり

仙台市では、「仙台市基本計画2021-2030」を策定し、令和3年度からの10年間のまちづくりの指針としています。この計画の推進の一環として、仙台市が重点的に取り組むチャレンジプロジェクトに関連する事業について、施設の見学やテーマに対するアイデアを考えることを通して、今後のまちづくりで一人ひとりができることを見つけるイベントを開催しました。

まちづくりの理念

挑戦を続ける、新たな杜の都へ ~“The Greenest City”SENDAI~

「仙台市基本計画2021-2030」では、まちづくりの理念を実現するため、住民や仙台に関わる皆さまを中心に、多様な力を掛け合わせながら、仙台の特性を最大限に活かして重点的に取り組むものとして、8つの「チャレンジプロジェクト」を掲げています。

8つのチャレンジプロジェクト

仙台市基本計画2021-2030

1 杜と水の都プロジェクト

「杜の都」の風土と文化に巡りあえる都市空間をつくります

2 防災環境都市プロジェクト

持続可能でしなやかな都市環境をつくります

3 心の伴走プロジェクト

多様性を尊重し、あらゆる人が安心して暮らせる地域をつくります

4 地域協働プロジェクト

多様性を力に変える地域をつくります

5 笑顔咲く子どもプロジェクト

子どもたちの未来が広がる環境をつくります

6 ライフデザインプロジェクト

自分らしい生き方が実現できる環境をつくります

7 TOHOKU未来プロジェクト

世界に発信できる東北発のイノベーションを生み出します

8 都心創生プロジェクト

人が集い、新しいチャレンジが生まれる都心をつくります

イベント概要

あなたの一歩がまちの未来を変える みんなのせんだいめぐり2023

TOHOKU未来プロジェクト

ルート1

どんな未来を創造する？

次世代放射光施設ナノテラスの可能性に触れる見学ツアー



日時 9月30日(土)
13:00~16:00

場所 次世代放射光施設ナノテラス
・東北大学

社と水の都プロジェクト

ルート2

青葉山エリアの魅力って？

青葉山エリアが育む「仙台の豊かな暮らし」をプレゼンしよう！



日時 10月7日(土)
13:00~16:00

場所 仙臺緑彩館

防災環境都市プロジェクト

ルート3

仙台は防災環境の先進都市だ！

「防災環境都市・仙台」のブランドプロモーションを考えよう！



日時 10月21日(土)
13:00~16:00

場所 せんだい3.11メモリアル交流館

イベントの対象者はこれからのまちづくりを担うおおむね13歳~29歳の若者で、

当日は大学生を中心とした方々にご参加いただきました。

施設を見学したり、関係者や仙台市担当課からの説明を聞いたりして、

仙台市の取り組みについての理解を深めるとともに、

ファシリテーターを中心に参加者同士で意見を交わすなど、

まちづくりを考えるきっかけとなるイベントになりました。



TOHOKU未来プロジェクト

日時 9月30日(土) 13:00~16:00

場所 次世代放射光施設ナノテラス、東北大学



テーマ

どんな未来を創造する？

次世代放射光施設ナノテラスの可能性に触れる見学ツアー

内容

令和6年度の本格稼働開始を目前に控えた次世代放射光施設ナノテラスの内部を見学し、施設の特徴や身近な活用事例などについて、施設の関係者や東北大学の真木先生からレクチャーを受けながら、ナノテラスがあることでどのような未来を創造できるかを参加者全員で考えました。

見学した施設

次世代放射光施設ナノテラス

東北大学青葉山新キャンパス内に整備中の次世代放射光施設。いわゆる「ナノまで見える巨大な顕微鏡」で、軟X線領域に強みを持ち、国内既存施設の100倍の明るさで世界最高水準の解析能力を有します。活用分野は多岐にわたっており、創薬や医療技術、省エネや環境保全、食の安全など様々な範囲への応用が期待されています。



ワークショップでのやり取り



参加者

見えないものが見えるようになったことは大きな進歩。今後の研究に期待が持てるのでは？

より多くのものが研究できるようになったナノテラスの周辺ではサイエンスパークの整備が進んでいます。将来、色々な分野や業種の研究者たちが出会う場所になると思います。



真木先生



参加者

ナノテラスができたことによって開発や研究に興味のある若い人たちが仙台に残るきっかけになるのでは？

ナノテラスによって様々な研究や産業が集積することで、将来就職先の1つとして仙台も選択肢になってくるといいね。



原氏

あなたの一歩がまちの未来を変える
~2023~
みんなのせんだいめぐり

当日の様子

集合



地下鉄青葉山駅前広場に集合し、バスでナノテラスへ



次世代放射光施設 ナノテラス



施設の見学
QST(国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構)の方から施設の説明を受けながら、実験ホールまで見学しました



東北大学



東北大学・真木先生からのレクチャー



ワークショップ



ナノテラスがあることでどのような未来が創造できるだろう？



解散

ファシリテーターのコメント

エイチタス株式会社
原亮氏



まちづくりの視点でナノテラスについて語り合う貴重な場でした。実際のナノテラスの見学は初めてで、より具体的な利活用のイメージを持つことができ、国内外の諸機関や企業の集積へ高い期待を抱くことができました。

ナノテラスによって新たな産業やビジネスが増え、リサーチコンプレックスの形成などで知と挑戦が集積するまちとして、仙台はどのように発展するのか。その姿が、未来の彼らへの回答になるはずです。

杜と水の都
プロジェクト

日時 10月7日(土) 13:00~16:00

場所 仙臺緑彩館



テーマ 青葉山エリアの魅力って？
青葉山エリアが育む「仙台の豊かな暮らし」をプレゼンしよう！

内容 令和5年4月に青葉山エリアの玄関口である青葉山公園追廻地区に開館した青葉山公園「仙臺緑彩館」を見学し、エリアの歴史や文化についてレクチャーを受けながら、青葉山エリアの魅力を考え、市民が青葉山エリアをもっと楽しむにはどうすればよいかを参加者全員で考えました。

見学した施設

青葉山公園 仙臺緑彩館

地下鉄東西線「国際センター駅」から徒歩7分、青葉山公園追廻地区にある施設。令和5年4~6月に開催された全国都市緑化仙台フェアのメイン会場として利用され、同年7月からはビジターセンターとなっています。来訪者に向けて「杜の都・仙台の歴史・文化」を発信し、青葉山の自然と広瀬川に囲まれた空間で多くの人が憩い、集うことができる場所です。



ワークショップでのやり取り



参加者

子どもの頃から青葉山に来るようなきっかけがあったらいいのでは？

大学のキャンパスを開放して研究内容の発表やワークショップを行えば子どもたちが訪れるきっかけになるかもしれないね。



榊原氏



参加者

行われているイベントを知る手段がないのもっとうまく発信できるといいのでは？

若い世代の人に来てもらうためにはチラシを置いておくのではなく、SNSで発信したりして、ターゲットに合わせた情報発信ツールを選ぶ必要があるね。



榊原氏

あなたの一歩がまちの未来を変える
~2023~
みんなのせんだいめぐり

当日の様子



ファシリテーターのコメント

特定非営利活動法人 都市デザインワークス
榊原 進氏



青葉山エリアは仙台にとってこれからもとても大切な場所になると思います。エリアの魅力の向上や情報発信など、若い人たちにも自分ごととして考えてもらえたらいいですね。最後には力を合わせて青葉山をアピールするためのキャッチコピーを制作できたので、それをしっかりと使ってもらえるといいなと思っています。

社と水の都
プロジェクト

日時 10月21日(土) 13:00~16:00

場所 せんだい3.11メモリアル交流館



テーマ 仙台は防災環境の先進都市だ！
「防災環境都市・仙台」のブランドプロモーションを考えよう！

内容 東日本大震災の震災メモリアル拠点である「せんだい3.11メモリアル交流館」を見学し、仙台市が取り組む「防災環境まちづくり」「防災環境ひとづくり」について説明を受けながら、「防災環境都市・仙台」の都市ブランドを広げるため、誰に対して、どのように情報発信すればよいかを参加者全員で考えました。

見学した施設

せんだい3.11メモリアル交流館

地下鉄東西線「荒井駅」内にある施設。
東日本大震災を知り学ぶための場であるとともに、津波により大きな被害を受けた仙台市東部沿岸地域への玄関口でもあります。
記憶と経験を媒介に、コミュニケーションを通じて知恵と教訓を紡ぎ出し、未来へ、世界へとつないでいく拠点となっています。



ワークショップでのやり取り



参加者

地下鉄や日常で常に目につく場所に防災の広告があるといいのでは？

話題になるようなインパクトがある広告だと印象に残りやすいね。
全世代、様々なステータスの人々に届くような広告があるといいかもしれないね。



鈴木氏



参加者

学校では防災訓練だけではなく、生徒主体になって防災について考える時間も必要ではないか？

学校での訓練は状況に応じてイレギュラーに対応できないのがデメリットだね。
もっと当事者意識を持って学習の時間や訓練に取り組んだ方がいいね。



鈴木氏

当日の様子

あなたの一歩がまちの未来を変える
~2023~
みんなのせんだいめぐり



集合



せんだい3.11
メモリアル交流館

施設の見学



交流スペースや展示室を見学
施設の方から震災当時のお話や
施設の役割について伺いました

仙台市からの事業説明



「防災環境都市・仙台」を広げるために、
誰に対して、どのように情報発信すればよいか、
アイデアを考えよう！

ワークショップ



解散

仙台市が行っている防災環境都市づくり、
BOSAI-TECH、ゼロカーボンに向けた取
り組みについて話を聞きました

ファシリテーターのコメント

ラジオパーソナリティー
鈴木 美範 氏



私も施設の見学や職員の方からの説明に参加した学生の皆さんと一緒に体験しながら聞かせていただきました。

その後のワークショップでいろいろな意見を聞かせていただきましたが、それぞれの世代の当事者意識を持った課題感や、それに対する提案をいただいて私としても非常に参考になりました。

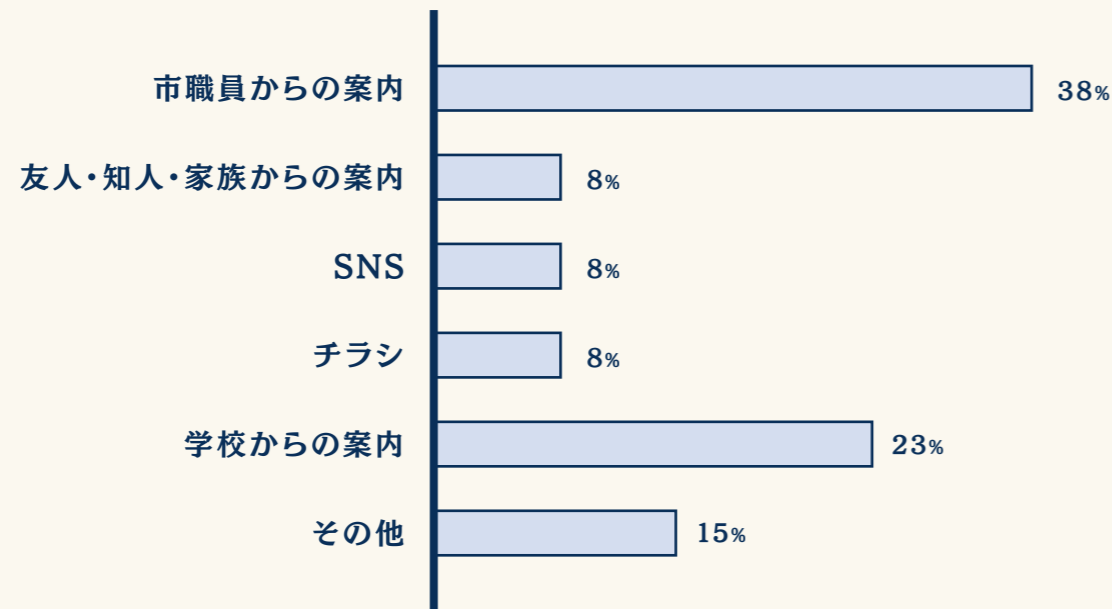
今後の仙台市にとっても貴重な意見になるのではないかなと思い、大変勉強になる1日でした。



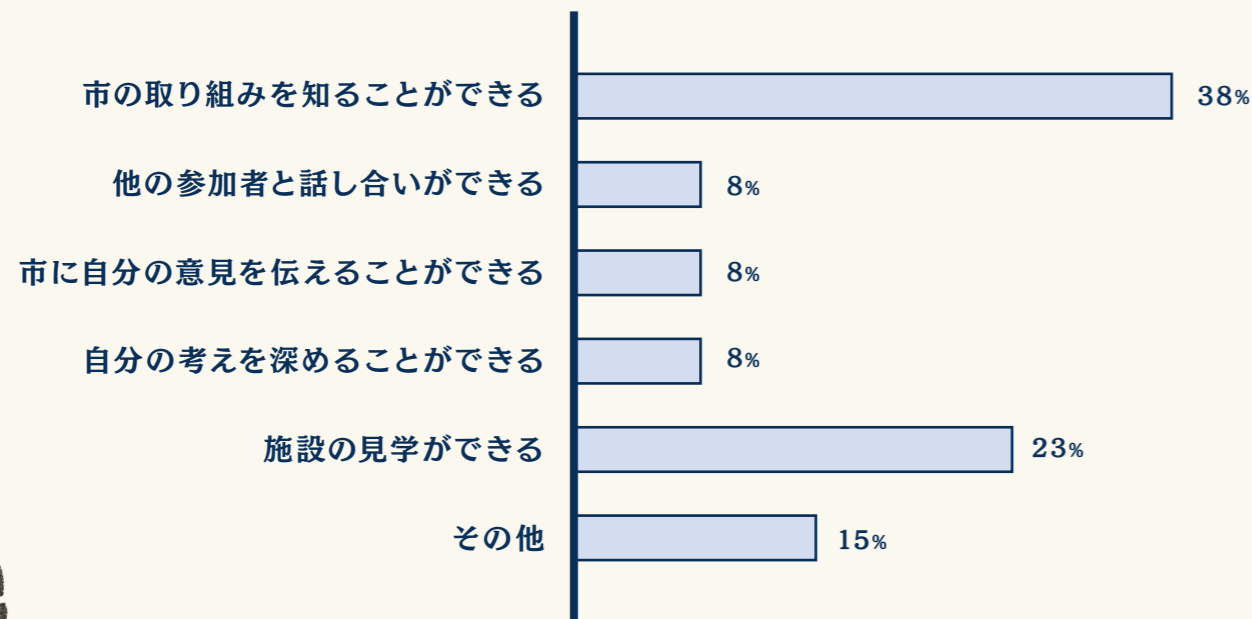
あなたの一歩がまちの未来を変える
~2023~
みんなのせんだいめぐり

あなたの一歩がまちの未来を変える みんなのせんだいめぐり2023
参加者アンケート 集計結果

Q1 このイベントをどこでお知りになりましたか？

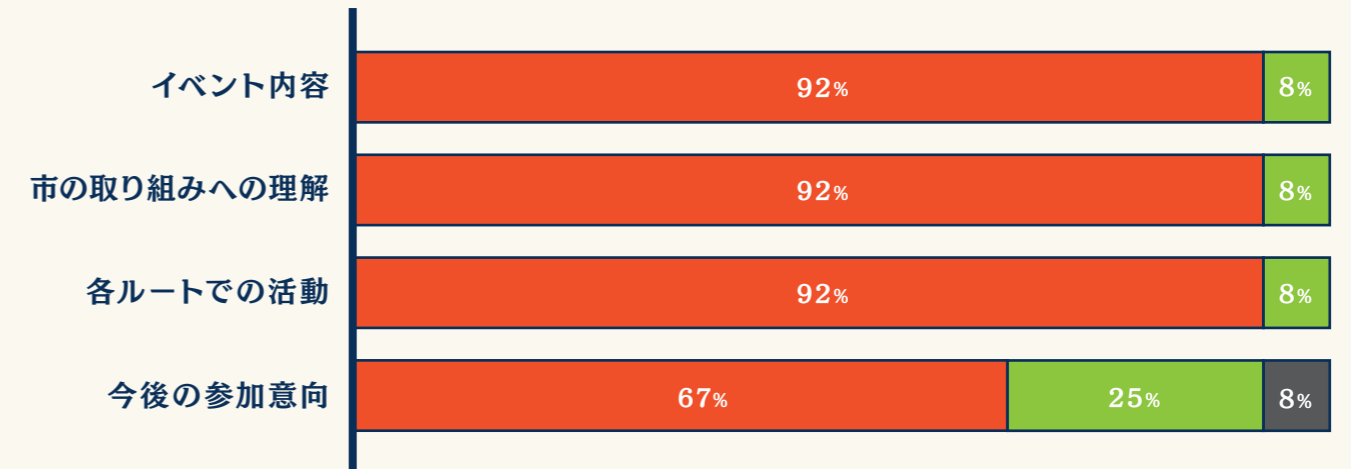


Q2 このイベントのどこに興味があり参加されましたか？

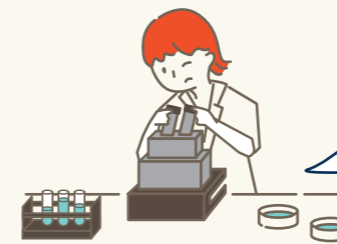


Q3 各種評価

■ 最高評価 ■ 高評価 ■ 低評価 ■ 最低評価 ■ 不明



Q4 参加者からの感想



ナノテラスでできることを知ることができました。
地元の中小企業が持つ課題解決のソリューションとして活用される可能性に魅力を感じました。
サイエンスパークが誕生したらぜひ行ってみたいと思います。

青葉山には5年以上通学していて、非常に大好きなエリアですが、ワークショップの中で、あまり青葉山のことを知らない人とも意見交換し、訪れるきっかけづくりや魅力の発信方法について考えることができました。
どんどん発展していける場所であると知り、これからの青葉山が楽しみになりました。



「交流」をコンセプトとした3.11メモリアル交流館では、伝承館の形、あり方について印象に残りました。防災環境都市や脱炭素の取り組みについては今回初めて知り、特にプラスチックの一括収集が大きな取り組みの1つである事には驚きました。